

## NY マーケットレポート (2016 年 11 月 4 日)

NY 市場では、序盤に発表された米雇用統計で、非農業部門雇用者数が市場予想を下回る結果となったが、過去 2 ヶ月分が上方修正されたことで、実質+20 万人を上回る結果となった。また、賃金も堅調な伸びとなったことも加わり、ドルが買われる動きとなった。ただ、米大統領選の行方に対する警戒感や、米情報当局者がニューヨーク、テキサス、バージニアの地元当局に対し、来週 7 日に過激派組織「アルカイダ」が攻撃する可能性があることと警告したとの報道もあり、リスク回避の円買い・ドル売りの動きも見られた。その後は、大きく下落した原油価格が反発したことや、株価も上昇したことが影響し、ドル円・クロス円は堅調な動きとなった。ただ、終盤には株価が再びマイナス圏まで下落する動きとなったことから、ドル円・クロス円は上値の重い動きとなった。

### 2016年11月4日 (金)

TOKYO	終値	高値	安値
USD/JPY	103.25	103.36	102.84
EUR/JPY	114.57	114.71	114.20
GBP/JPY	128.71	128.85	128.29
AUD/JPY	79.21	79.39	79.03
EUR/USD	1.1096	1.1110	1.1086

LONDON	高値	安値
USD/JPY	103.26	102.88
EUR/JPY	114.60	114.14
GBP/JPY	128.76	128.42
AUD/JPY	79.21	79.04
EUR/USD	1.1108	1.1088

\*東京クローズ～NYオープンまでの高安

NEW YORK	終値	高値	安値
USD/JPY	103.04	103.30	102.87
EUR/JPY	114.71	114.79	114.20
GBP/JPY	128.94	129.46	128.51
AUD/JPY	79.11	79.29	78.86
NZD/JPY	75.51	75.59	75.21
EUR/USD	1.1134	1.1139	1.1080
AUD/USD	0.7679	0.7691	0.7652

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	17888.28	-42.39
S&P500	2085.18	-3.48
NASDAQ	5046.37	-12.04
日経225 (CME)	16855	-115
トロント総合	14509.25	-74.17
ボルサ指数	46694.81	+11.01
ボベスパ指数	61598.39	-151.78

#### 11/7 経済指標スケジュール

09:00	【日本】9月毎月勤労統計[現金給与総額]
09:00	【日本】9月実質賃金総額
09:30	【オーストラリア】10月ANZ求人広告件数
14:30	【オーストラリア】10月外貨準備高
15:00	【南アフリカ】10月外貨準備高
16:00	【ドイツ】9月製造業受注
17:00	【スイス】10月外貨準備高
17:15	【スイス】10月消費者物価指数
17:30	【英国】10月ハリファックス住宅価格
17:30	【スウェーデン】10月財政収支
18:30	【欧州】11月センチックス投資家信頼感
19:00	【欧州】9月小売売上高
23:00	【メキシコ】10月消費者信頼感指数
00:00	【米国】10月労働市場情勢指数
05:00	【米国】9月消費者信用残高

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1304.50	+1.20
NY 原油	44.07	-0.59
CME コーン	348.75	+0.75
CBOT 大豆	990.75	+1.25

米国債利回り	本日	前日
2年債	0.786%	0.806%
3年債	0.938%	0.960%
5年債	1.234%	1.261%
7年債	1.542%	1.578%
10年債	1.776%	1.810%
30年債	2.561%	2.600%

ドイツ10年債	0.135%	0.158%
英国 10年債	1.130%	1.201%

#### 11/7 主要会議・講演・その他予定

・ユーロ圏財務相会合

**NY 市場レポート**

21 : 30

◀ 経済指標の結果 ▶

10月米失業率 4.9% (予想 4.9%・前回 5.0%)

10月米非農業部門雇用者数 16.1万人 (予想 17.3万人・前回 19.1万人)  
 前回発表の15.6万人から19.1万人に修正

10月米平均時給 (前月比) 0.4% (予想 0.3%・前回 0.3%)  
 前回発表の0.2%から0.3%に修正

10月米平均時給 (前年比) 2.8% (予想 2.6%・前回 2.7%)  
 前回発表の2.6%から2.7%に修正

10月米労働参加率 62.8% (前回 62.9%)



出所 : Bloomberg



出所 : Bloomberg



出所：Bloomberg

**指標結果データ**

《米雇用統計》

	10月	9月	8月	7月	6月	5月
失業率	4.9	5.0	4.9	4.9	4.9	4.7
非農業部門雇用者数	+16.1	+19.1	+17.6	+25.2	+27.1	+2.4
製造業雇用者数	-0.9	-0.8	-1.6	0.2	0.8	-1.7
民間部門雇用者数	+14.2	+18.8	+13.2	+22.1	+23.8	-0.1
平均週間労働時間	34.4	34.4	34.3	34.4	34.4	34.4
労働参加率	62.8	62.9	62.8	62.8	62.7	62.6
平均時給 (前月比)	+0.4	+0.3	+0.1	+0.4	+0.1	+0.2
平均時給 (前年比)	2.8	2.7	2.5	2.7	2.6	2.5

10月の米雇用統計では、景気動向を敏感に映す非農業部門雇用者数の伸びが+16.1万人となり、市場予想を下回ったものの、前回結果が上方修正されたことや、失業率が4.9%と、前月から0.1ポイント改善したことを受けて、雇用情勢が堅調に改善しているとの見方が強まった。

①民間部門で+14.2万人となり、医療・介護関係や一時雇用の増加幅が大きかった。一方、海外の経済減速の悪影響を受ける製造業は-0.9万人となり、3ヵ月連続で減少した。政府部門は+1.9万人となった。

②FRBが注目する民間部門の就業者の平均時給は、前月比+0.4%、前年比2.8%と堅調な伸びとなり、物価上昇の追い風となった。また、1時間当たりの賃金は、0.1ドル増の25.92ドル、管理職を除いたベースの時給は、前月比0.04ドル増の21.72ドルだった。

③フルタイムで働きたいのにパートの仕事しか見つからない人なども含めた広義の失業率(U6)は9.5%と、前月比で0.2ポイント下落した。

④自発的離職率は12.1%となり、前月から0.9ポイント上昇。そして、失業期間が半年以上の長期失業者数は前月から+0.5万人の197.9万人となり、失業者全体の25.2%を占めた。

21:30

《 経済指標の結果 》

9月米貿易収支 -364億USD (予想 -380億USD・前回 -405億USD)  
 前回発表の-407億USDから-405億USDに修正



出所：Bloomberg

9月の米貿易収支では、赤字額がモノとサービスを合わせた国際収支ベースで前月比-9.9%の364.4億ドルと、2ヵ月ぶりに縮小し、2015年2月以来の赤字縮小となった。輸出が引き続き好調で、輸入が減ったことが影響し、貿易赤字が大幅に縮小した。

①輸出総額は+0.6%の1891億9500万ドルと4ヵ月連続の増加、民間航空機などの輸出増が目立った。輸入総額は-1.3%の2256億3500万ドルと、2ヵ月ぶりのマイナスとなり、自動車・同部品の輸入が増加したが、消費財などが減った。サービス輸入は、8月よりオデジャネイロ五輪の放送権料支払いがあったが、9月は目立った知財権使用料はなかった。モノの貿易赤字は-4.3%の575億1900万ドル。

②国・地域別では、対日赤字が-4.8%の52億2200万ドル、対中赤字は-32.5%、対EU赤字は-10.2%だった。

21:30

◀ 経済指標の結果 ▶

10月カナダ失業率 7.0% (予想 7.0%・前回 7.0%)

10月カナダ雇用ネット変化率 4.39万人 (予想 -1.50万人・前回 6.72万人)

9月カナダ国際商品貿易 -40.8億CAD (予想 -17.0億CAD・前回 -19.9億CAD)

前回発表の-19.4億CADから-19.9億CADに修正



出所：Bloomberg



出所：Bloomberg



出所：Bloomberg

21 : 45

◀ 要人発言 ▶

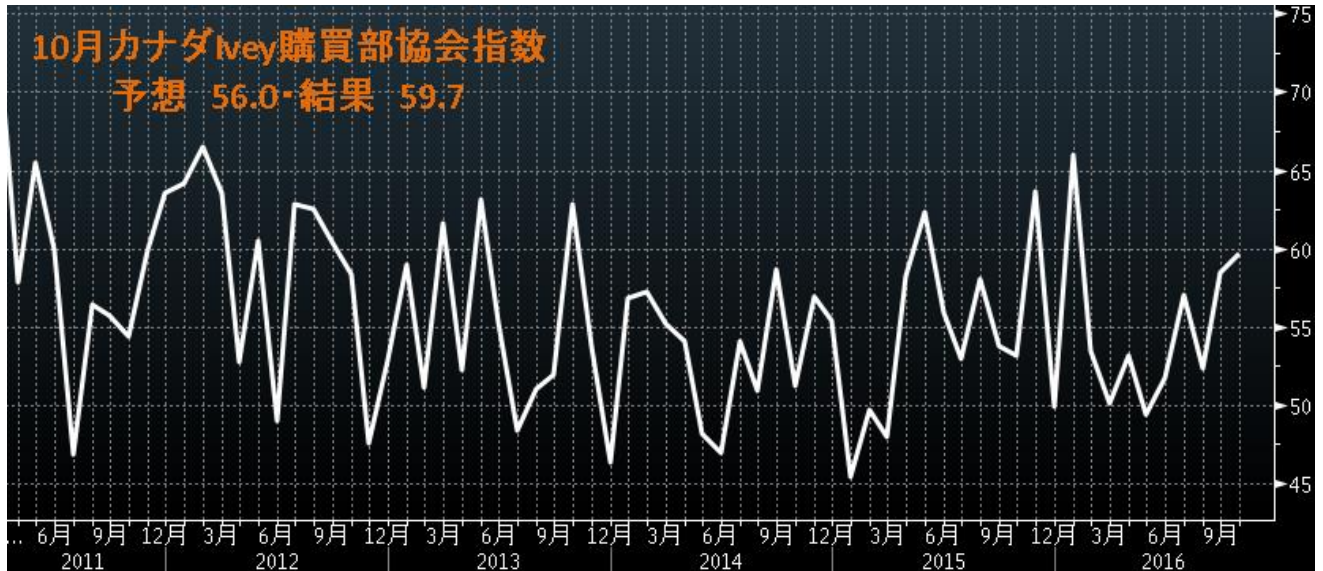
ロックハート・アトランタ連銀総裁

- ・「金利が長期的に上昇を続けるとは想定しない」
- ・「今年の米経済成長率は、2%弱になりそう」
- ・「向こう2年は極めて段階的な金利上昇環境に」
  
- ・「近い将来のリセッションは予想していない」
- ・「米国でマイナス金利が展開するとは予想せず」
- ・「ドルは最近、やや上昇気味だった」

23 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

10月カナダ Ivey 購買部協会指数 59.7 (予想 56.0・前回 58.4)



出所 : Bloomberg

23 : 20

◀ポイント▶

NY原油は、OPECの10月末の高官会合で、サウジがイランに対し、減産を受け入れなければサウジ自身が大幅増産し、原油相場を押し下げると恫喝していたと報じられたことや、週央に発表された在庫統計での原油在庫増加などが影響し、8月11日以来の安値に下落。

23 : 45

サウジ関係者が、原油の大幅増産を示唆したとの発言を否定。原油反発。



出所 : Bloomberg

0 : 55

◀ 要人発言 ▶

ロックハート・アトランタ連銀総裁

- ・「貿易保護主義は輸入物価に打撃を与える可能性」
- ・「急激な物価リスクなければ若干の景気過熱を容認」
- ・「利上げは経済を基に検討するのが好ましい」

2 : 00

◀ 要人発言 ▶

カプラン・ダラス連銀総裁

- ・「中国の成長減速はさらなる市場の波乱を意味する」
- ・「財政政策は、構造改革の貢献拡大が必要」
- ・「総合的なインフレ率は、徐々に2%に達すると確信」
- ・「英国のEU離脱の影響について、米国は十分に対応可能」

10月の雇用統計について簡潔に触れた。

11、12月のFOMC会合についてはコメントしなかった。

4 : 20

◀ 要人発言 ▶

カプラン・ダラス連銀総裁～質疑応答

- ・「雇用統計、スラック(たるみ)解消への着実な進展を示す」
- ・「政策決定を政治から切り離すことに力を注いでいる」
- ・「緩和策を解除する論拠は強まっている」

◀ NY金市場 ▶

NY金は、中心限月が前日比1.20ドル高の1オンス=1304.50ドルで取引を終了した。

NY金は、米大統領選の結果に対する不透明感から、比較的安全な資産とされる金を買う動きが優勢となった。ただ、10月の米雇用統計が堅調だったことで、12月の米追加利上げを警戒する売りが出る場面もあった。

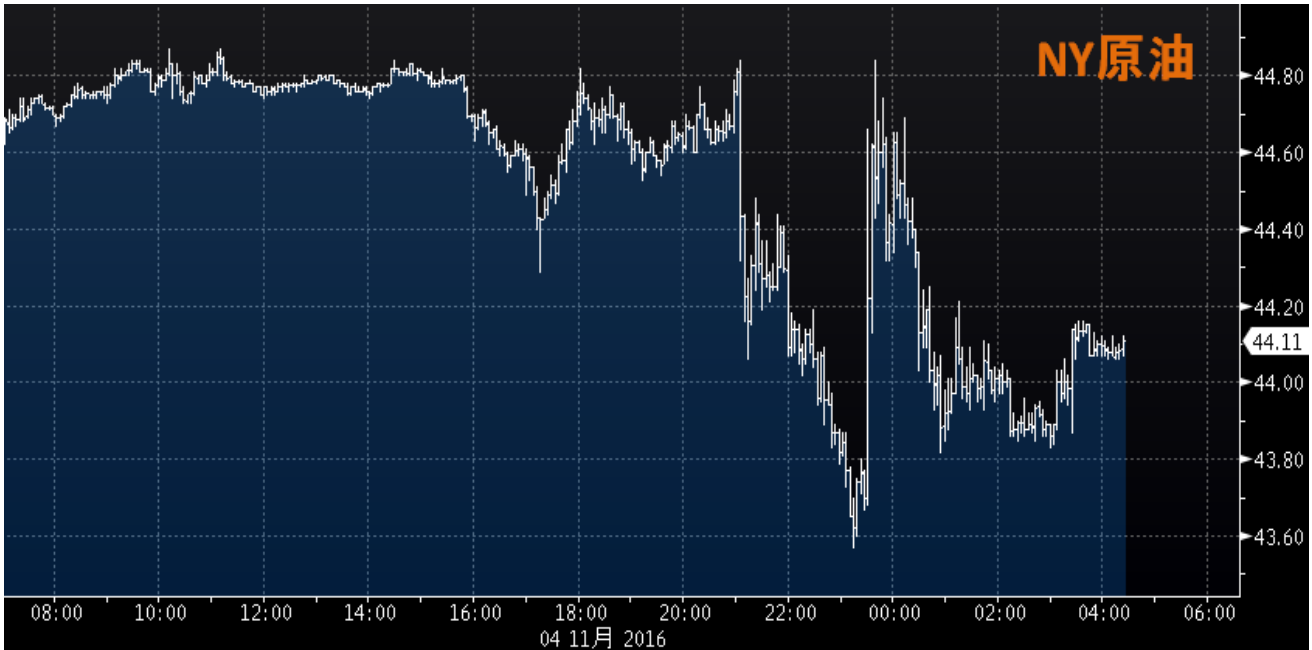


出所：Bloomberg

◀ NY 原油市場 ▶

NY 原油は、中心限月が前日比 0.59 ドル安の 1 バレル=44.07 ドルで取引を終了した。

NY 原油は、原油の生産調整を巡るサウジアラビアとイランの対立が伝わり、OPEC 加盟国の中で減産実行に向けた協議が難航するとの懸念が強まり、一時 1 バレル=43 ドル台まで下落し、9 月 20 日以来約 1 ヶ月半ぶりの安値水準を付ける場面もあった。



◀ 米株式市場 ▶

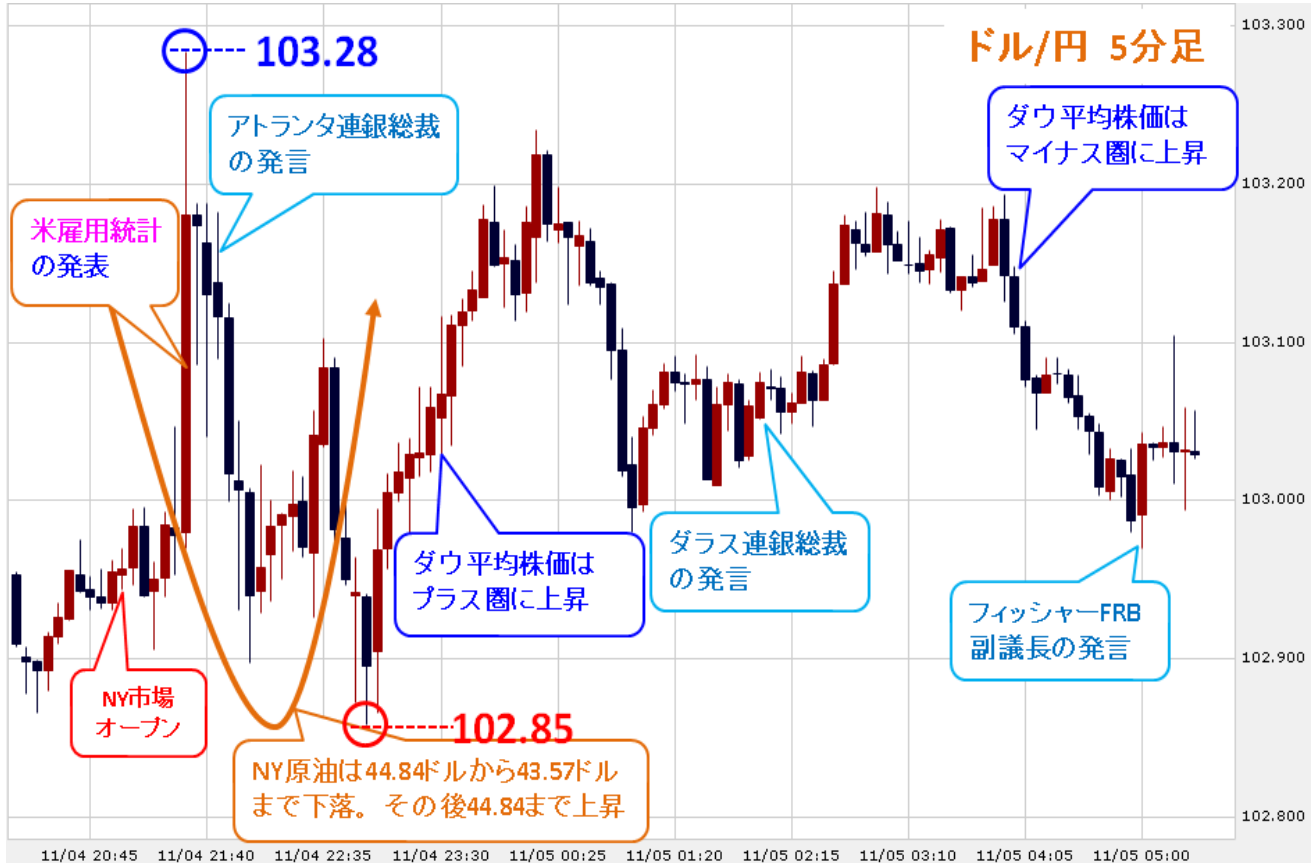
米株式市場は、10月の米雇用統計で、非農業部門雇用者数の伸びが比較的堅調な結果となったことが好感されて買いが入ったものの、米大統領選の行方を警戒する売りも出て、主要株価は序盤からもみ合いとなった。その後は、堅調な動きとなったものの、終盤にはポジション調整の動きも入り、マイナス圏まで下落して引けた。





◀外国為替市場▶

外国為替市場は、序盤に発表された米雇用統計がまずまずの結果となったことから、ドルは堅調な動きとなったが、その後は来週の大統領選に対する警戒感を背景に、上値の重い動きとなった。一方、下落した株価や原油価格が上昇となったことから、クロス円は堅調な動きとなったが、終盤に株価が下落したことから、上値の重い動きとなった。



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。